

ビスケット新聞

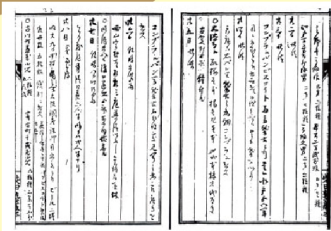


No.003
2026
BISCUIT
newspaper

どうして2月28日がビスケットの日なの？

2月28日は
ビスケットの日

写真は方庵日録とそれにもと
づいて試作されたビスコイト
(イトウ製菓株式会社製作) ▼



そのわけ ①
日本でのビスケットの歴史をみると、水戸藩士の蘭医、柴田方庵という人がでてきます。
それまでは長崎周辺で外国人向けにだけ作られていたビスケットですが、水戸藩がビスケットの保存のきく食べ物という点に注目し、その作り方を調べます。
そして、柴田方庵が長崎留学中にオランダ人から学んだビスケットの作り方を手紙にし、安政2年(1855年)2月28日に、水戸藩にあてて送った記録があります。
このことを日記に書き記し、「方庵日録」

として今でも残っています。
これが日本でビスケットが作られたことが明確にわかる最も古い記録です。

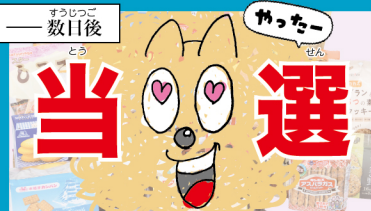
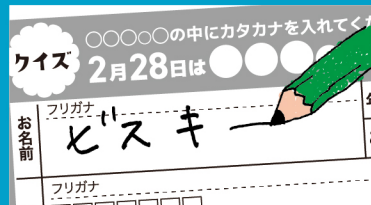
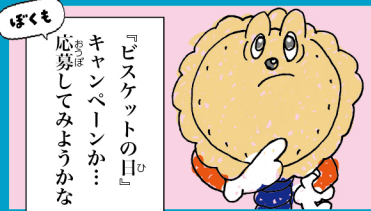
そのわけ ②

ビスケットの語源はラテン語で「2度焼かれたパン」という意味の「ビス・コクトゥス パニス (bis coctus panis)」から(1) (2) だや(8) かれたパンの語呂合わせの意味ももっています。
一般社団法人全国ビスケット協会では、この語源と柴田方庵の記録を考えあわせ、昭和55年に、毎年2月28日を「ビスケットの日」としました。

水戸藩：現在の茨城県中部・北部を治めた藩で徳川御三家(尾張徳川家、紀伊徳川家、水戸徳川家)の一つ
蘭医：江戸時代にオランダから伝わった医学を学んだ医師のこと
ラテン語：古代ローマ人が使った言葉
語源：その言葉の由来や起源

No.03 がんばれビスキーくん

【2月28日はビスケットの日だ！】編



2月28日は
ビスケットの日

ビスケットまつりキャンペーン

全国ビスケット協会は、「2月28日が「ビスケットの日」であることを、消費者の皆さんに知ってもらおうとともに、子どもからお年寄りまで、誰からも愛されるビスケットの美味しさ、栄養面でのバランスの良さなどを思い出し、おいしく、ビスケットの普及を図るため、毎年「ビスケットまつりキャンペーン」(11月～3月)を開催しています。皆さん是非応募してね！

クイズに答えて当たる！



※B賞「ビスケットセット」の詰め合わせイメージ

全国ビスケット協会のホームページに「工場見学」、「アレンジレシピ」のコーナーがあるよ！



「工場見学」コーナーでは、ビスケットができるまでの動画があるよ！見に来てね。



「アレンジレシピ」コーナーは、ビスケットを美味しく食べる食べ方がのってるよ！皆さん試してみてくださいね！



こどもビスケット広場を開設！

全国ビスケット協会のホームページに「こどもビスケット広場」のコーナーを作ったよ。「ビスケット新聞」や「ビスケットクイズ」がのってるよ。見に来てね。

